

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	2-(9)-イ	残された戦後処理問題の解決	施 策	③戦没者遺骨収集の取組強化
			施策の小項目名	○遺骨に関する情報収集
主な取組	遺骨収集情報センターの活用		対応する成果指標	沖縄戦没者未収骨柱数（推計）
施策の方向	・国に対し、戦没者遺骨収集情報センターの組織体制の強化を求めるとともに、同センターを拠点とした遺骨に関する情報収集と調査分析を通して、遺骨収集活動の取組強化を図ります。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアによる遺骨収集活動を支援することにより、遺骨収集の加速化を図る。	県	戦没者遺骨収集情報センターへの未収骨情報の一元化		
		市町村別未収骨情報調査数（累計）		
		2市町村	2市町村（4市町村）	2市町村（6市町村）
担当部課【連絡先】	生活福祉部保護・援護課	【 098-866-2428 】	関連URL	—

様式 1（主な取組）

2 取組の状況（Do）

(1) 取組の進捗状況					(単位：千円)			
予算事業名		戦没者遺骨収集事業費			予算事業名		戦没者遺骨収集事業費	
主な財源	実施方法	R6年度 決算額	R7年度 決算見込額		R8年度			
					主な財源	実施方法	当初予算額	
各省計上	委託	25, 938	26, 203		各省計上	委託	29, 506	
令和7年度活動内容					令和8年度活動計画			
宜野湾市において、戦争遺跡資料や地域住民の証言を基に、戦没者未収骨等調査を実施したが、未収骨情報は確認できなかった。					宜野湾市以外の市町村を選定し、戦没者未収骨壕等調査の実施及び未収骨の状況を把握する。また、ボランティア団体へも必要に応じて情報を提供する。			

活動指標名	市町村別未収骨情報調査数（累計）		R7年度			進捗状況	活動概要
実績値	R5年度	R6年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		大幅遅れ
	—	—	1市町村	2 市町村	50. 0%		

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
市町村別未収骨情報調査数において、目標 2 市町村に対して実績 1 市だったことから、「大幅遅れ」と判定した。目標値に届かなかった要因としては、調査した宜野湾市は前年度から字ごとの現地調査、聞き取り調査等を行っているが関係者との日程調整等に時間を要したこともあり、1 市の調査に留まったことが考えられる。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和7年度の取組改善案	反映状況
○遺骨収集のボランティア団体との連携を図りながら、地元市町村にも情報提供を求め、地域住民も含めた幅広い情報を収集し、詳しい状況を聴取するなど精度の高い未収骨情報の収集を進める。	○地域住民や戦争体験者等から聞き取り調査を実施し、未収骨情報を入手した。厚生労働省が米国公文書館から入手した遺骨に関する情報の調査を実施したが、戦後80年余が経過することもあり新たな未収骨情報は得られなかった。今後も引き続き調査を進めていく。

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	戦後80年が経過し、戦争体験者等の高齢化等により、戦没者遺骨の情報収集が難しくなっている。また、調査協力が高齢のため、聞き取った収骨・未収骨情報が不正確であったりする場合がある。	② 連携の強化・改善	遺骨を収集する団体や個人ボランティア、引退された方々、地域住民も含めた幅広い情報を収集し、詳しい状況を聴取するなど精度の高い未収骨情報の収集を進める。
⑦ その他内部要因（改善余地の検証等）	戦没者遺骨収集情報センターを周知広報し、戦没者遺骨に関する情報収集を強化する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	引き続き地域住民や市町村等から未収骨情報を収集し、過去の収骨状況や厚生労働省が米国公文書館から入手した情報を組み合わせるなどして、精度の高い未収骨情報の収集を進める。

様式 1（主な取組）

「主な取組」検証票

施策展開	2-(9)-イ	残された戦後処理問題の解決	施 策	③戦没者遺骨収集の取組強化
			施策の小項目名	○遺骨収集の加速化
主な取組	民間ボランティア団体等への活動支援		対応する成果指標	沖縄戦没者未収骨柱数（推計）
施策の方向	・ 遺骨収集活動の若い担い手への継承を支援し、遺骨収集の加速化に取り組みます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアによる遺骨収集活動を支援することにより、遺骨収集の加速化を図る。	県	民間ボランティア団体等の活動支援		
		ボランティア支援件数（補助金交付件数）（累計）		
		4件	4件（8件）	4件（12件）
担当部課【連絡先】	生活福祉部保護・援護課【 098-866-2428 】		関連URL	—

様式 1 （主な取組）

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

戦没者遺骨収集事業費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

各省計上

補助

2,000

2,000

令和7年度活動内容

遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアに対する活動支援を行うことにより、遺骨収集の加速化を図る。

(単位：千円)

予算事業名

戦没者遺骨収集事業費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

各省計上

補助

3,000

令和8年度活動計画

補助金を増額し、遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアに対する活動支援を行うことにより、遺骨収集の更なる加速化を図る。

活動指標名

ボランティア支援件数（補助金交付件数）（累計）

R7年度

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

実績値(A)

目標値(B)

達成割合
A/B

—

—

5件

4件

100.0%

順調

遺骨収集実績の約8割を占める民間団体や個人ボランティアに対する活動支援を行い、遺骨収集の加速化を図った。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

令和2年度から新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により遺骨収集活動が縮小していたが、令和4年度から総額8,090千円、延べ22団体への支援を実施した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○遺骨を収集する団体や個人ボランティア、引退された方々、地域住民も含めた幅広い情報を収集し、詳しい状況を聴取するなど精度の高い未収骨情報を収集する。
○引き続き遺骨収集ボランティアの活動を支援し、当該ボランティアに参加する若い世代へ遺骨収集が引き継がれていくよう取り組む。

・地域住民や戦争体験者等から聞き取り調査を実施し、未収骨情報を入手した。
厚生労働省が米国公文書館から入手した遺骨に関する情報の調査を実施したが、戦後80年が経過していることから新たな未収骨情報を得ることができなかった。今後も、引き続き情報を収集する。
・若い世代で遺骨収集を希望する方々に対し、ボランティア団体の情報提供などを行った。また、若い世代が参加する遺骨収集ボランティア団体に対し活動支援を行った。

- 5 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	戦後80年が経過し、戦争体験者等の高齢化等により、戦没者遺骨の情報収集が難しくなっている。近年は遺族による収骨はほとんどなく、ボランティア団体頼みな点が多い。	② 連携の強化・改善	遺族連合会へも遺骨収集再開に向けた調整や、証言等の聞き取りについて調整を行う。ボランティア団体は独自の情報網により地点の選定などを行っているため、センターを中心に連携強化を図る。
⑦ その他内部要因（改善余地の検証等）	遺骨収集ボランティア補助金が認知されており、全額執行されている。予算の増額が求められる。	⑥ 変化に対応した取組の改善	国に対し補助金の増額要望を継続し、ボランティアの活動支援を強化し、当該活動に参加する若い世代へ遺骨収集が引き継がれていくよう取り組む。

様式 1 （主な取組）

「主な取組」 検証票

施策展開	2-(9)-イ	残された戦後処理問題の解決	施 策	③戦没者遺骨収集の取組強化
			施策の小項目名	○遺骨収集活動の要請
主な取組	一元化された未収骨情報による遺骨収集の加速化		対応する成果指標	沖縄戦没者未収骨柱数（推計）
施策の方向	・大規模な戦争壕跡の遺骨収集など、遺骨所在の現地調査も含めて国による遺骨収集活動を求めます。			

1 取組の概要（Plan）

主な取組（アクティビティ）	実施主体	年度別計画		
		活動指標（アウトプット）		
		R7	R8	R9
可能な限り遺骨を収集するため、遺骨収集のさらなる加速化を図り、一定期間を目途に集中的に取り組むよう国に要請する。	県	一元化された未収骨情報による遺骨収集の加速化		
		厚生労働省要請現場数（累計）		
		1件	1件（2件）	1件（3件）
担当部課【連絡先】	生活福祉部保護・援護課		【 098-866-2428 】	関連URL
				—

様式 1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況

予算事業名

戦没者遺骨収集事業費

主な財源

実施方法

R6年度
決算額

R7年度
決算見込額

各省計上

委託

25, 938

26, 203

令和7年度活動内容

地域住民等への聞き取りや戦没者未収骨壕等調査等の結果に基づき、埋没壕などの沖縄県では実施困難な遺骨収集について厚生労働省に要請した。

予算事業名

戦没者遺骨収集事業費

R8年度

主な財源

実施方法

当初予算額

各省計上

委託

29, 506

令和8年度活動計画

地域住民等への聞き取りや戦没者未収骨壕等調査等の結果に基づき、埋没壕などの沖縄県では実施困難な遺骨収集について厚生労働省に要請する。

活動指標名

厚生労働省要請現場数 (累計)

R7年度

実績値 (A)

目標値 (B)

達成割合
A/B

進捗状況

活動概要

実績値

R5年度

R6年度

—

—

2件

1 件

100. 0%

順調

埋没壕情報について厚生労働省へ情報提供と今後の進め方について相談している。今年度は厚生労働省による遺骨調査は実施されなかった。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

引き続き、戦没者未収骨壕等の未収骨情報調査の結果に基づき、確度の高い未収骨情報が得られた場合には厚生労働省に対して要請することになるが、要請の体制は整っており遺骨収集活動は順調に進捗している。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和7年度の取組改善案

反映状況

○遺骨を収集する団体や個人ボランティア、引退された方々、地域住民も含めた幅広い情報を収集し、詳しい状況を聴取するなど精度の高い未収骨情報の収集を進める。
○引き続き地域住民や市町村等から未収骨の情報を収集しつつ、過去の収骨状況や米国公文書館等から入手した情報を組み合わせるなどして、精度の高い未収骨情報の収集を進める。

地域住民や市町村等から情報を収集するなど遺骨収集情報センターと連携を図りながら情報収集に取り組み、さらに収集した情報をボランティア団体等に情報センターを通して提供した。
遺骨に関する情報を調査し、未収骨情報が得られた箇所を厚生労働省へ要請した。

- 8 -

様式 1 （主な取組）

3 取組の検証（Check）		4 取組の改善案（Action）	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化（外部環境の変化）	センターが持つ未収骨情報を整理するとともに、県・センター・ボランティアが作業できない埋没壕の調査を進める。	② 連携の強化・改善	埋没壕ではないが、壕内で崩落の危険性がありこれ以上はボランティアで作業できない箇所について、国の直轄事業に向けた事前調整を進めている。
⑦ その他内部要因（改善余地の検証等）	センターの周知広報を図り、戦没者遺骨に関する情報収集を強化する必要がある。	⑥ 変化に対応した取組の改善	センターの周知広報により、遺族等のみならず地域住民や市町村等から、積極的な未収骨の情報を収集していく。引き続き文献調査なども進めていく。